



家族会第2回総会開催

お父さんを支え 行動にたとう



日刊 労働千葉

1988.2.16

No.2759

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

労働千葉家族会は二月七日（日）千葉市民会館において、第二回総会を開催しました。館山、勝浦、銚子など遠方の支部からも多くの参加を勝ちとり、①組織強化・発展を実現しよう、②平和と民主主義を守り、生活の向上を計ろう、③たたかう婦人との連帯を深め闘おう、と家族会の発展に向けた方針を決定しました。

「戦争への道を進んでいることに早く気がついて！」

— 林会長があいさつ —

冒頭、川田さんより力強い開会のあいさつがされ、議長に桜沢さんが選出され議事が進められました。まず、林会長の「四月一日以降、ますます厳しい状況に入っていますが、労働千葉は、首切り配転に負けず頑張っています。そんなお父さんを支え、戦争への道を進んでいることに早く気付いて行動に立ちあがりましょう」とのあいさつの後、かけつけてくださった来賓の方々からあいさつをうけました。

「戦争をとめるために女こそが立ちあがる！」

三里塚・北富士・婦人民主クラブ
全国協が来賓のあいさつ

三里塚で連日闘いぬいている萩原静江さんは、「分裂・脱落した人は切って、相手に不足のない公団と最後まで闘う」と決意を語り、さらに「闘いは、家族全員で確信を持っているから続くし、横のつながりが大切。戦争は誰がとめるのでもなく、私達女が今やらなければならぬ」と自らの体験から積極的に闘おう、と訴えられました。

次に、北富士忍草母の会の渡辺喜美江さん、天野美恵さんからも、「天の半分を支えるは女なり。家族会も旦那を信じ最後まで頑張って下さい」「女が立ち上がり、家族ぐるみでなければ闘いはできない。家族会ももっと増やし、人の中傷にも負けず、どんな小さな事でも皆と分かち合って、女でなければできない闘いをして戦争への道、労働者の首切りを許してはならない」と訴えられ、とんぼ返りで現地に戻らなければならぬ多忙の中にもかわらず「今日、家族会総会に来たのは女の闘いであるから」と、励ましてくれました。

「人間としての誇りをもって労働組合が頑張らなければならぬとき」

— 中野委員長があいさつ —

さらに、小さな子供連れでかけつけて下さった婦人民主クラブ千葉支部準備会からもあいさつをうけた後、中野委員長がたち、「去年ほど天皇が



- ▲新役員▼
- 会長 林川喜美子（兼 張）
 - 副会長 山田陽子（兼 小岩）
 - 事務局長 山田和子（兼 更津）
 - 事務次長 佐藤正子（兼 張）
 - 会計監査 滝口範子（兼 山）
 - 越川孝子（兼 山）

労働水戸家族会のメッセージ紹介の後、結成総会以降の主な闘いの経過報告が滝口さんより行われ、八七年度運動方針案が林会長より提案され、家族ぐるみの闘いを訴えました。

方針案は質疑の後、大きな拍手で採択され、最後に新役員を選出し、再度、新たな闘いに決起奮闘している親組合とともに闘うことを決意し、成功裡に第二回総会を終了しました。

（成功裡に2回総会を打ちとる。）